

学校教育目標

第4期和歌山県教育振興基本計画 【基本的方向】

- 1 未来を拓く「知・徳・体」をバランスよく備えた人づくり
- 2 信頼される質の高い教育環境づくり
- 3 子供たちの成長を支えるコミュニティづくり
- 4 生涯にわたる学びやスポーツ・文化芸術・文化遺産に親しむ社会づくり
- 5 人権尊重の社会づくり

生きる力を育み、未来を拓くために、
主体的に考え行動できる生徒を
育成する。

かかわる全ての人々が幸せになる

「いい学校」を目指して

“亀中一心”で目指す学校像

- あ：安全・安心な学校
- い：勢いのある学校
- う：美しく整った学校
- え：英知を磨く学校
- お：親が通わせたい学校

海南市教育委員会基本方針

- 1 確かな学力を育成する
- 2 豊かな心や感性を育む
- 3 健康でたうましい心と体を育てる
- 4 社会の一員としての自覚を育てる
- 5 教育における重要課題の解決に取り組む
- 6 学校運営を改善・充実させ、教師としての資質・能力を高める

【めざす生徒像】

- ・ ふさわしい挨拶ができる生徒
- ・ 素直に感謝、謝罪ができる生徒
- ・ 時間を大切にできる生徒
- ・ ふるさとを大切にできる生徒
- ・ 何事にも挑戦できる生徒

【めざす教師像】

- ・ プロとして自覚と誇りをもつ教師
- ・ 強い情熱と使命感をもつ教師
- ・ 豊かな人間性をもつ教師
- ・ 確かな力量をもつ教師
- ・ 保護者、地域と適切に関われる教師

めざす学校像（含生徒像・教師像）

を実現するための三重点項目

学力の向上

- ① 授業時間の確保
- ② ICTの活用
- ③ 指導方法の工夫改善
- ④ 情報共有・協働による教科間及び学年間の連携
- ⑤ 小学校との連携
- ⑥ 授業の「ふりかえり」をもとにした家庭学習の工夫充実

心の育成

- ① 個に応じた関わりの重視
- ② 心の安定を培った上での適応力の育成
- ③ 特別の教科道徳・体験的活動・実践的な人権教育の充実
- ④ 開発的生徒指導を工夫した上での自他共に大切にする心の育成
- ⑤ キャリア教育の充実

体力の増進と安全・安心の保持

- ① 情報モラル指導の徹底
- ② 心身の健康を自立的に管理する能力の育成
- ③ 生涯にわたって運動に親しもうとする態度の育成
- ④ 学校運営協議会や各種団体との連携・協働
- ⑤ いじめ問題・不登校の課題に対する組織的・継続的な対応

- ① 教師間で授業づくりの共通事項を設定する。（可能であれば小学校とも）
- ② ICTの活用、ノート指導、小テスト等により学習定着度を把握し、生徒個々に適した支援・指導を行う。共通認識を図り、具体の学力向上策を検討し実践する。
- ③ 7限ふりかえり学習の実施
- ④ 「学習の手引き」を活用し、効果的な家庭学習課題を課す。

- ① 主体的に行動し、他者と協働して解決する体験活動を教育活動の中に組み入れる。
- ② ローテーション道徳、給食、掃除などの機会を活かし、全職員が生徒の育成に関わる。
- ③ 特別な配慮が必要な生徒以外にも全生徒の情報を全職員で共有し、個々に応じた支援・指導を行う。

- ① ネット・スマホ・携帯の使用ルールといった有益な情報を示すなどのデジタルシチズンシップ教育を推進する。
- ② 体力テスト、体育大会、マラソン大会等において生徒一人一人が具体の目標をもち、取り組むように指導する。
- ③ 保護者・地域が生徒の様子を見ることができる場面を数多く設定する。（授業参観：複数回/年、民生・児童委員との会の実施）
- ④ すぐーるを通じた情報発信を日常化する。
- ⑤ 効果的な避難訓練・防災学習の実施

・ 全国・市学習到達度調査で、正答数が地方平均を上回る
・ DXによる授業が各教師1単元以上行う

・ いじめ見逃しゼロ
・ 「学校が楽しい」という回答率85%以上

保護者アンケートにおいて、「学校の様子がよく伝わった」という回答率が90%を上回る